企画・制作／毎日新聞社営業総本部　広告

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

いま、ここでしか学べない、未来につながるリベラル・アーツ

College of Global Liberal Arts

立命館大学グローバル教養学部

グローバル時代のリベラル・アーツ(教養)を学び、世界の未来を切り開いていく人材を育てようと立命館大学グローバル教養学部が今年4月、大阪いばらきキャンパスに開設した。日本、豪州、およびアジアの諸地域から多様な学生を受け入れ、全科目の授業を英語で実施。オーストラリア国立大学(ANU)と提携し、卒業時に両大学の学位を同時取得できる。国際標準の教養教育を目指した大学の挑戦はいま、どのように動き出しているのか。金山勉・同学部長に聞いた。(池田知隆)

最新モデルのリベラル・アーツ

――グローバルな教養とはどのようなものですか。

ICT(情報通信技術)、AI(人工知能)から生命科学までテクノロジーは猛烈に進化し、知識や技能はすぐに時代遅れになってしまいます。これまでのリベラル・アーツを超え、現代で必須とされている統計学、アートやデザイン、デジタルを中心とする科学技術のリテラシーなどを加えた、未来の世界の共通言語となる教養が求められています。グローバルな歴史の流れから現代社会を見つめ直すために必要な世界標準の教養のことだと考えています。

――アジア・太平洋の視点も重視されていますね。

アジア・太平洋地域の課題を多角的・多元的な視点で学んでいきます。ヨーロッパに源流のあるリベラル・アーツの知的蓄積を継承しつつ世界認識や歴史認識をアジア・太平洋の視点からとらえなおし、様々な課題を柔軟かつ実践的に解決していく人材を養成します。

日本については4年間のうち少なくとも2年から3年、学びます。海外からの学生には日本語や日本の歴史、文化および社会への理解を深めてもらうことが可能で、キャリア形成の資産として日本での学びの経験が生きるカリキュラムを追求しています。特に関西(大阪、京都)エリアは日本でも重厚な文化的歴史の蓄積があり、地の利を生かして質の高い教育を行います。

世界のヨコの広がりを学ぶ
文化研究・地域研究を軸に社会の多様性を理解し、様々な境界を超えて問題発見・問題解決に導く能力を養成する。

世界のタテのつながりを学ぶ
歴史研究・社会理論を軸に国際社会の多元性と普遍性を理解し、人類にとっての新しい課題を浮き彫りにする力を育てる。

世界の未来を構想する
経営理論、科学・技術論を軸に、新しい知識と価値を生み出し、国際社会で実践できる知的能力と行動力を修得する。

目指すのは、国際標準

――教育内容の特徴は。

立命館大学では16番目の新学部になりますが、本学部は国際標準の大学教育を強く意識しています。世界的にも評価の高いANUと密接に提携していますが、そのためには自らの教育内容を高め、自信と誇りがなければできません。カロリーの高い授業を行い、従来の日本の大学教育の風景を一変させる挑戦をしています。

多様な文化的な背景を持つ学生を受け入れ、すべての科目を英語で実施します。原則として全科目が4単位科目で一学期4科目履修。一般他大学で週15科目程度履修することを考えれば一科目の学ぶカロリーの高さは群を抜いています。1科目は週2回で、講義と少人数セミナーにあたるチュートリアルを組み合わせて展開し、アクティブラーニング型の学びを追求します。学生は目標を定めて集中的に学習し、課題発見・解決に向けた基礎的な“筋力(学習能力)”をつけ、自らの成長を確認できるようにします。

――デュアル・ディグリー(二大学学位取得)はどのように。

立命館大学とANUのアジア太平洋学群が共通のカリキュラムで授業を行います。卒業する学生には両方の学部から学位が授与されます。立命館大学で学び始める学生グループは3回生のとき1年間、ANUに留学してアジア太平洋学関係の講義を履修し、ANUスタートの学生は2、3年次に立命館大学に留学して日豪相互往復型のグローバル教養学を学びます。

立命館大学 グローバル教養学部長
金山 勉 氏

かなやま・つとむ　1960年山口県生まれ。テレビ山口アナウンサー兼記者を経て渡米留学。ウェスタンミシガン大学(修士)、オハイオ大学(博士)をそれぞれ修了。上智大学教授などを経て現職。

学ぶ意欲を歓迎

――開設から5カ月、現況は。

第1期生として春入学、秋入学合わせて世界9カ国から65人が入学しました。教員も19人中10人が外国籍です。女性教員も全体の半数を超え、教える側の多様性も重視しています。すでに第1期生たちは各企業や新聞社などの実地見学で意欲的に学んでおり、今後はインターンシップなど社会的な接点を増やしていきます。

9月にはキャンパス内に国際寮、立命館大学OICグローバルハウス」が完成しました。衣食住の生活拠点を大学の中心に置き、多様な学生が交流しながら学べるように混在型の寮室を用意し、全員が入寮できます。異文化交流は共生、協働、そして寛容の美徳を育んでいくうえでリベラル・アーツの本質につながるものです。

――どのような学生に来てほしいですか。

グローバルな社会で活躍したいという高いモチベーションがあれば、誰でも歓迎しています。幅広い教養を学ぶために必要な学力および英語力を求めています。学生の選考には書類審査、エッセイ、面接などによる多元的な評価尺度から志願者個別に対して総合的評価を実施しています。

本学部で二つの大学の学位を取得すれば、国際機関、最先端のグローバル企業、国内外の大学院進学など世界で活躍するためのパスポートを得られます。ここを第一歩に世界のさまざまな分野で自らの可能性を広げてほしいですね。

グローバル教養学部の5つのポイント

1　すべての授業を英語で学ぶ

教員と学生の親密なアカデミック・コミュニケーションを通じて、多文化な環境において英語で実務を遂行する力、そして表層的な英語力にとどまらない豊かな言語運用力を育む。

2　リベラル・アーツ教育を軸とした問題発見・問題解決型人材育成のカリキュラム

これまでのリベラル・アーツが前提としていた世界や歴史の認識をより広く、より深い文脈で再定義し、現代社会のさまざまな課題に対して実践的、創造的に問題解決する力を養う。

3　講義とチュートリアル(少人数の個別指導)

1科目の授業が週2回(講義とチュートリアル)行われることが原則で、学生は合計30回の授業を通して1科目を学ぶ。チュートリアル形式の授業ではディスカッションやグループワークを中心に進める。

4　デュアル・ディグリー・プログラム(2大学から2つの学位取得)

オーストラリア国立大学(ANU)との緊密な連携で、卒業時には本学部の学士(グローバル教養学)に加えて、オーストラリア国立大学から学士(アジア太平洋学)も同時に取得できる。

オーストラリア国立大学
オーストラリア連邦議会法に基づいて設立された唯一の国立大学。首都キャンベラにメインとなるキャンパスがあり、国際的な大学ランキングでは常に20位前後に入る、オーストラリアの東大とも称される名門だ。

5　真に多文化で多様性にあふれた学修環境

正課から課外にわたってトータルに多文化的な学びのコミュニティを形成し、多文化協働の能力を育成。キャンパス内の国際寮「立命館大学OICグローバルハウス」では混住型の寮室のほか多目的ホール、能舞台、和室、庭園を備え国際交流の場を設ける。

立命館大学グローバル教養学部 学び体験イベント

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

立命館大学グローバル教養学部(GLA)が、普段体験することのできない学び体験イベントを開催します。
イベントでは、GLA教員による模擬講義や学部教学に関する説明、入試説明も実施します。帰国生や留学経験者、海外大学への進学を希望する方はぜひご参加ください。

こんな方が対象です

海外大学への進学を考えている
留学を経験したい
リベラルアーツを学びたい
将来グローバルに活躍したい

TOKYO

10/27 sun

14:00〜16:15(13:30〜受付開始)
立命館東京キャンパス サピアタワー8F
教室1(英語対応)、教室2(日本語対応)

アクセス　・JR東京駅日本橋口直結。八重洲北口改札徒歩2分
・東京メトロ東西線大手町駅B7出口直結

13:30〜	受付開始
14:00〜14:40	グローバル教養学部紹介・入試説明会(日・英) カリキュラム紹介、入試、学費、奨学金など
14:45〜15:20	GLAミニ模擬講義(英語)
15:20〜16:15	個別相談会(日・英)

OSAKA

11/17 sun

13:00〜16:15(12:30〜受付開始)
立命館大学 大阪いばらきキャンパス C棟3F
C371(英語対応)、C373(日本語対応)

アクセス　・JR茨木駅より徒歩5分
・阪急南茨木駅より徒歩10分

12:30〜	受付開始
13:00〜13:40	グローバル教養学部紹介・入試説明会(日・英) カリキュラム紹介、入試、学費、奨学金など
13:40〜14:20	GLAミニ模擬講義(英語)
14:30〜15:20	学びの施設公開(教室、国際寮、図書館など)
15:20〜16:15	個別相談会(日・英)

参加費無料
予約不要

この他にも英語対策講座などのイベントを開催予定です。
受験生向けイベント情報は立命館大学入試情報サイトへ。　http://ritsnet.ritsumei.jp/index.html